

しっかりとろうよ。休憩時間

日立ジョンソンコントロールズ空調
と関連会社で働く
人のネットワーク



2018年4・5月

No. 76

発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL

090-9121-0602

休憩時間に行われていること

清水事業所の職場の中には、休憩時間に次のことが行われている所があります。

掃除、設備点検、通常業務

どう見ても休憩時間に行うこととは思えないのですが…。

休憩時間は保障されています

休憩時間は、労働者が労働から離れる権利を保障された時間です。つまり、労働者が、自由に利用できる時間です。労働と労働の間に、労働基準法に従って設定されており、肉体的・精神的疲労から回復することを目指すとしています。しかし、実際は、保障されていない実態があります。

休憩時間と労働時間の区別

会社からの一定の指揮命令下にあるとみなされる行為は、労働時間になります。始業前の朝礼や、終業後の後片付けも労働時間であり、残業代が支払わなければなりません。休憩時間に行われる仕事に必要な業務も、労働時間に含まれるべき時間なので、サービス残業に該当します。

また、休憩時間に労働していることから発生する精神的な侵害についての賠償も、裁判の事例により認められています。

したがって、休憩時間に行われる労働は違法であり、単に残業代を払えば良いというのではなく、法律で保障された休憩時間をきちんと労働者が保障されるために、会社による改善が求められます。

違法な状況を改善するには

休憩時間に労働に該当することが行われる状況を改善するには、その原因をつぶしていくことが必要です。

① 一番の問題は会社の法令順守の姿勢です。労働基準法を守れない会社にコンプライアンスを語る資格はありません。

② 過度なノルマの要求、強制が挙げられます。会社の業績を上げるために、労働者一人ひとりへの、過度な成果の要求、厳しい成果査定のもとに進められます。その結果、通常業務に対する、日程、期限の達成が厳しくなり、休憩時間に労働することが蔓延します。

③ 労働者の権利意識と、労働組合の職場巡視等による権利擁護の活動が必要です。

『生理休暇は、働く女性の味方』

頭痛、下腹部痛、吐き気、目眩、精神的に不安定になるなど、生理の時に心身共に辛い症状になる時があります。

症状が重いけれど、無理をして働いてしまいがちですが、働く女性には雇用形態に関わることなく「生理休暇」が認められています。

職場上長の理解も必要なことなので、取得しやすい環境を作ることも大切です。